

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31210	日本語文法と読解 Japanese Grammar & Reading	河合 龍二			1	選択	1・2後期

**科目の概要**

現代日本語文法・敬語を学修し、実践問題に取り組むことによって、現代日本語の基礎を身に付ける。また、評論・小説・随想・詩歌・新聞記事などの様々な文章を読み、日本語の味わいや情感、論理に触れ、感性や読解力を高める。(ディプロマ・ポリシー②③④⑤)

学修内容	到達目標
① 日本語の文章・文・文節・品詞の定義を理解する。 ② 8種類の自立語と2種類の付属語を習得する。 ③ 3種類(5種類)の敬語を分類し、表現を身に付ける。 ④ 思考ツールを活用して評論・小説・随想・詩歌等の読解力を身に付ける。 ⑤ 新聞記事などの読解力を身に付ける。	① 文を文節、さらに品詞に分け、品詞名を理解できる。(ディプロマ・ポリシー②③) ② 品詞名・文法的意味の小テストで8割正解できる。(ディプロマ・ポリシー②③) ③ 場面ごとの敬語の使い分けで8割正解できる。(ディプロマ・ポリシー②③) ④ 仲間と対話しつつ読解力を高めることができる(ディプロマ・ポリシー④⑥) ⑤ 新聞記事のポイントを指摘できる。(ディプロマ・ポリシー④⑥)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	授業で取り組む文法・読解の演習などに、積極的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	小テストの予習・復習、授業での課題の取り組みを確実に進めることができる。
考え抜く力	課題発見力	文章や図表を読解し、課題が何であるかを発見し、確認・把握することができる。
	計画力	
	創造力	基本事項を土台にして、自ら工夫して応用課題の解決方法を考えることができる。また、エッセイや詩歌を創作できる。
チームで働く力	発信力	エッセイや詩歌を創作し、自らの作品や意図を他の者に分かりやすく伝えることができる。
	傾聴力	教員の講義の重点、他の学生の発表の要点を的確につかみ、箇条書きでポイントを記述することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

テキスト：毎回、教員作成のプリントを用意する。  
 参考文献：講義中に随時紹介する。

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：なし  
 資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
毎回、河合のエッセイを含めさまざまな文章を用意するので、熟読し内容を理解するよう心がける。社会人として必要な日本語の知識を修得するため、適宜「小テスト」を実施するので真摯に取り組むこと。	さまざまな思考ツールを紹介する。読解のしかた、ものの見方・考え方を広げてほしい。また、「ボキャブラリーシート」を活用して語彙力の向上に努めること。配付プリント及び毎回の振り返りシートは、ポートフォリオとして各自保管しておくこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学 期 末 試 験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	文法・漢字・語彙が理解できている。 誤字・脱字がなく、用語の使用が適切である。 各種文章の読解力があり、解答が簡潔で分かりやすい。 図表・資料・新聞記事から課題点を見つけることができる。 敬語の種類・適切な使用ができる。 文法・読解の学修の中に課題解決の要素を加え、pisa型学力を身に付けることができる。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤	✓		
	平 常 評 価	小 テ ス ト		30	①	✓	授業の初めに実施する文法・漢字・語彙・敬語の小テストの得点を評価に加える。
					②	✓	
					③		
					④		
					⑤		
		レ ポ ー ト		10	①	✓	毎回の振り返りシートに、何を学び今の自分に何が足りないかを記述する。それを蓄積し、学修の調整することができる。
					②	✓	
					③	✓	
					④	✓	
					⑤	✓	
		成 果 発 表 （ プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン ・ 作 品 制 作 等 ）		0	①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
学 修 行 動	社 会 人 基 礎 力 （ 学 修 態 度 ）	10	①	✓	（主体性）文法・読解の演習などに、積極的に取り組むことができる。 （実行力）目標への取り組みを確実に進めていくことができる。 （課題発見力）文章・図表から課題を発見し、解決策を考察することができる。 （創造力）詩歌やエッセイを創作できる。 （発信力）聞き手に分かりやすく、自らの考えを発表できる。 （傾聴力）他の者の話を聞き、課題を考察し、理解を深めることができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>Sは、10品詞の定義が正確に言え、単語の種類、活用について誤りがほとんどない。敬語の種類・語彙をほぼマスターできている。漢字・語彙の誤りはなく、どの種類の文章でも正確に読解できる。読解演習など積極的に活動し、他者の話を聞き、しっかり考えた意見を表明できる。文法・読解など9割以上理解している。試験・小テストの正解率が9割以上。</p> <p>Aは、Sとほぼ同様であるが、文法・読解など8割以上。試験・小テストの正解率が8割以上。</p>	<p>Bは、10品詞の定義がほぼ正確に言え、単語の種類、活用について誤りが少ない。敬語の種類・語彙をだいたい理解できている。漢字・語彙の誤りは数か所。どの文章も概ね正確に読解できる。自分の意見を表明できる。文法・読解など7割以上理解。試験・小テストの正解率が7割以上。</p> <p>Cは、Bとほぼ同様であるが、文法・読解など6割以上。試験・小テストの正解率が6割以上。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション ・日本語文法Ⅰ 文章・文・文節・品詞を区別し、品詞に10品詞あることを学ぶ。 ・読解…『民話『米福栗福』』。 ・思考ツール「T字チャート」	シラバス並びに社会人基礎力を育む学泉ノートを使い、授業のねらいと小テスト、予習復習について説明する。PCを使って調べ学習をする。1年生は、調べた語句を「オリジナル辞書」としてPCフォルダに蓄積していく。(以下同じ)	・文章、文、文節、品詞を判別し、品詞の区別・定義を6割以上説明することができる。 ・T字チャートの効果を理解できる。	(復習) 授業で学習した文節・品詞を配付プリントにより復習する。	90	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力 規律性
2	・日本語文法Ⅱ 自立語で活用のあるもの(動詞・形容詞・形容動詞)の活用の種類を学ぶ。 ・読解…『三人のレンガ職人』。 ・思考ツール「T字チャート」	・10品詞の区別、名称、定義の小テストを授業開始時に行う。 自立語で活用のあるもの(動詞・形容詞・形容動詞)の活用の種類と活用のしかたを学修する。	・自立語で活用のあるもの(動詞・形容詞・形容動詞)を6割以上判別し、説明することができる。 ・T字チャートの効果を理解できる。	(予習) 小テストの範囲である「10の品詞」の区別・名称・定義を言えるようにする。 (復習) 動詞・形容詞・形容動詞の種類と活用を確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
3	・日本語文法Ⅲ 自立語で活用のないもの(名詞、副詞、連体詞、接続詞、感動詞)を学ぶ。 ・読解…『かわいそうなぞう』。 ・思考ツール「フィッシュボーン」	動詞・形容詞・形容動詞の小テストを授業開始時に行う。 自立語で活用のないもの(名詞、副詞、連体詞、接続詞)の定義の違いを学修する。	・自立語で活用のないもの(名詞、副詞:陳述の副詞など、連体詞、接続詞:順接・逆接など、感動詞)を6割以上判別し、説明することができる。 ・フィッシュボーンの効果を理解できる。	(予習) 小テストの範囲である「動詞・形容詞・形容動詞の種類と活用」を区別できるようにする。 (復習) 名詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞の区別を確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
4	・日本語文法Ⅳ 付属語で活用のあるもの(助動詞:受身・尊敬・自発・可能・使役・打消・推量・意志)を学ぶ。 ・読解…『野ばら』。 ・思考ツール「フィッシュボーン」	名詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞の小テストを授業開始時に行う。 付属語で活用のある助動詞の違いを学修する。	・付属語で活用のあるもの(助動詞:受身・尊敬・自発・可能・使役・打消・推量・意志)を6割以上判別し、説明することができる。 ・フィッシュボーンの効果を理解できる。	(予習) 小テストの範囲である「名詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞」を区別できるようにする。 (復習) 助動詞(受身・尊敬・自発・可能・使役・打消・推量・意志)の意味と活用の仕方を確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
5	・日本語文法Ⅴ 付属語で活用のあるもの(助動詞:過去・完了・断定・伝聞・比況など)を学ぶ。 ・読解…『星野君の二墨打』。 ・思考ツール「二項対立チャート」	付属語で活用のある助動詞の違いを双方向による演習と発表により学修する。	・付属語で活用のあるもの(助動詞:過去・完了・断定・伝聞・比況など)を6割以上判別し、説明することができる。 ・二項対立チャートの効果を理解できる。	(予習) 小テストの範囲「助動詞」を区別できるようにする。 (復習) 各助動詞(過去・完了・断定・伝聞・比況などの意味と活用の仕方)を確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
6	・日本語文法Ⅵ 付属語で活用のないもの(助詞:格助詞・接続助詞・副助詞・終助詞)を学ぶ。 ・読解…『おしになった娘』。 ・思考ツール「クラゲチャート」	助動詞の小テストを授業開始時に行う。 付属語で活用のない助詞(格助詞・接続助詞・副助詞・終助詞)の違いを学修する。	・付属語で活用のない助詞(格助詞・接続助詞・副助詞・終助詞)を6割以上判別し、説明することができる。 ・クラゲチャートの効果を理解できる。	(予習) 小テストの範囲「助動詞」を区別できるようにする。 (復習) 4種類の助詞(格助詞・接続助詞・副助詞・終助詞)の分類ができ、意味の違いを確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 規律性
7	・敬語概論と演習Ⅰ 尊敬語、謙譲語、丁寧語(丁寧語、美化語)の定義を知り、活用できるようにする。 ・読解…『百羽のツル』。 ・思考ツール「バタフライチャート」	4種類の助詞の小テストを授業開始時に行う。 尊敬語・謙譲語Ⅰ・謙譲語Ⅱ・丁寧語・美化語の違いを学修する。	・尊敬語、謙譲語、丁寧語の定義が理解でき、通常語を、言い換えによる敬語に置き換えることができる。 ・バタフライチャートの効果を理解できる。	(予習) 小テストの範囲である4種類の助詞を区別できるようにする。 (復習) 3種類5分類の敬語の定義を復習し、確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
8	・敬語概論と演習Ⅱ 訪問客や上司への応対など、具体的な場面での敬語使用法を学ぶ。 ・読解…『とびこみ』。 ・思考ツール「比較チャート」	訪問客や上司への応対など、具体的な場面での敬語使用法をロールプレイングにより学修する。	・相手が訪問客であったり、上司であったり、状況に合わせて、尊敬語・謙譲語・丁寧語の敬語の使い分けができる。 ・比較チャートの効果を理解できる。	(予習) 敬語の種類についてPCを用いて調べ学習をしてくる。 (復習) 具体的な場面での各種敬語の使用の区別を確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・敬語概論と演習Ⅲ 危機管理を意識する場面での敬語使用法をグループワークにより学ぶ。 ・読解…『やまなし』。 ・思考ツール「読者論的アプローチ」	敬語の小テストを授業開始時に行う。訪問客や上司への応対など、具体的な場面での敬語使用法をロールプレイングにより学修する。	・園の対応に不満をもつ保護者への対応等、状況に合わせて、尊敬語・謙譲語・丁寧語の敬語の使い分けができる。 ・読者論的アプローチの効果を理解できる。	(予習) 小テストの範囲である「具体的場面での各種敬語」を区別できるようにする。 (復習) 具体的場面での各種敬語の使用の区別を確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
10	・プロファイリングから創作へⅠ これまでの学修を踏まえ、オリジナルストーリーを創作し、発表する。 ・読解『桃花源記』『蜘蛛の意図』他の比べ読み。	・換骨奪胎を起点として、5W1Hに変化を加えてオリジナルストーリーを組み立てることができる。	・オリジナルストーリー(あらすじ)をグループ内で発表できる。 ・比べ読みの効果を理解できる。	(復習) 新たなものの見方・考え方が身に付いたかを、振り返りシートを用いて確認する。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	・プロファイリングから創作へⅡ これまでの学修を踏まえ、オリジナルの詩歌を創作し、発表する。 ・読解『サーカス』。	・換骨奪胎を起点として、五感を使って書き、相手の五感に訴える詩歌をつくる。	・オリジナルの詩歌をグループ内で発表できる。 ・オノマトペを有効に組み込むことができる。	(復習) 新たなものの見方・考え方が身に付いたかを、振り返りシートを用いて確認する。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	・プロファイリングから創作へⅢ これまでの学修を踏まえ、オリジナルの歌詞を創作し、発表する。 ・比べ聴き『川の流れるように』と『時代』他	歌謡曲を複数視聴し、両者の共通点を探る。そのプロファイリングを生かし、同様の趣旨でオリジナルの歌詞をつくる。	・オリジナルの詩歌をグループ内で発表できる。	(復習) 新たなものの見方・考え方が身に付いたかを、振り返りシートを用いて確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	・小説と歌詞の比較読解Ⅰ 読解の成果を、日常生活へグラウンディングさせる。 ・読解『最後の一葉』(オーヘンリー) ・比べ聴き『最後の一葉』(太田裕美)	同名の短編小説と歌謡曲を並べ、共通点と相違点を探しつつ読解を深める。	・自身の体験を第三極として、作品を鑑賞できる。 ・比べ読み(比べ聴き)の効果を理解できる。	(復習) 新たなものの見方・考え方が身に付いたかを、振り返りシートを用いて確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	・小説と歌詞の比較読解Ⅱ ・読解『賢者の贈り物』(オーヘンリー) ・比べ聴き『木綿のハンカチーフ』(太田裕美)	短編小説と歌謡曲を並べ、共通点と相違点を探しつつ読解を深める。	・自身の体験を第三極として、作品を鑑賞できる。 ・比べ読み(比べ聴き)の効果を理解できる。	(復習) ・新たなものの見方・考え方が身に付いたかを、振り返りシートを用いて確認する。 ・オリジナルエッセイの創作を期末試験問題の一部とする。	90	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	プロファイリングから創作へⅣ 河合自作のエッセイと新聞を読み、比較検討を加え、自らの考えを反映した新たなエッセイを生み出す。	「比べ読み」の手法を生かして、思考ツールを用い、関連の構造等を可視化する。エッセイを社会問題と結び付け、物語を創作する。演習とグループワークにより学修する。	新聞等で報道される社会問題と比較することでメタ認知を発揮できる。その過程での気づきを自らの作品に反映し、発表できる	(復習) 新たなものの見方・考え方が身に付いたかを、振り返りシートを用いて確認する。創作が期末試験の重要ポイントとなる。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力